

## 第1回独立行政法人農林漁業信用基金漁業信用保険業務運営委員会 議事概要

### 1 開会の日時及び場所

- (1) 日時 平成28年3月17日(木) 14時48分
- (2) 場所 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階  
独立行政法人農林漁業信用基金 第3, 4会議室

### 2 出席者

#### 【運営委員】

金野委員、後藤委員、佐竹委員、斉藤委員、下山委員、阿部委員、亀田委員、竹田委員、山下委員

#### 【信用基金】

堤理事長、石井副理事長、高野総括理事、井田理事、内海理事、竹渕監事、富田監事(オブザーバー)

#### 【主務省】

矢花水産庁漁政部水産経営課長

### 3 提出議案

平成28年度年度計画(案)について

### 4 議事経過の概要及びその結果

- (1) 議事に入る前に、委員会において運営規程を決定し、同規程に基づき運営委員の互選により山下委員が委員長に選出された。委員長は、斉藤委員を委員長の職務を代理する者に指名した。
- (2) 引き続き議事に入り、信用基金から資料に沿って説明がなされた後、審議が行われ、平成28年度年度計画(案)については、原案のとおり了承された。本計画(案)に関する各委員からの主な質問は以下のとおり。また、その他の事項として、漁業信用基金協会の合併、料率算定方法等について発言があった。

#### 【質問】

- 農業信用保険業務において、「信用リスクに応じた保証・保険料率の導入」を検討することとなっているが、漁業信用保険業務では検討しているのか。
- 引受審査の厳格化について、単に引受の可否を機械的に判断するのではなく、事前協議を丁寧かつ確実に実施するという理解でよいか。
- 事業費の削減について、中期目標期間中に平成24年度対比5%以上削減となっているが、現時点での達成状況如何。

これらの質問について、以下のとおり説明がなされた。

- ・ 漁業信用保険業務においては、従来より「総トン数20トン以上の動力船を使用して漁業を営む者」と「その他の者」に分けて保険料率を設定しており、これがいわゆる「信用リスクに応じた保証・保険料率」に当たるが、更なる細分化やその他の区分けは考えていない。
- ・ 機械的に判断するのではなく、大口事前協議の際は、引き続き各協会とのやりとりを密にし、コミュニケーションをとりながら丁寧かつ確実に実施する。
- ・ 十分に達成できている。

### 5 閉会の日時 平成28年3月17日(木) 16時07分

以上